

## 開会あいさつ

本日は河合文化庁長官をはじめ、多くの皆様方にお集まりいただき、誠にありがとうございます。主催者を代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。

関西は、これまで経済の地盤沈下に歯止めがかからず、地域全体に「元気がない」と言われ続けてまいりました。しかし、関西は豊かな歴史、あるいは文化の中で育った、多くの優れた人材に恵まれ、ものづくりの伝統を活かして頑張っている企業。さらには、地域を愛する多くのNPO等の活動など、極めてポテンシャルの高い地域でございます。



そうした「頑張る関西」の姿を積極的に発信し、関西の魅力为全国、世界の皆様に知っていただくことを目的に、平成17年1月に「関西元気宣言」発信運動本部を設立し、関西の産学公民が一体となった情報発信活動を展開してきました。おかげさまで、最近では「日本の景気は関西が引っ張っている。」と云われるまでになり、各地の観光地は多くの人々で賑わいを見せるなど、地域全体に活力が戻ってまいりました。

こうした流れを確実なものとし、関西が持続的に発展していくためには、住民の皆さんやそこで働いている皆さん一人一人が元気づけられ、やる気を出していくことが、何よりも大切であるということはいまでもありません。

例えば、大阪天満は天神祭の舞台であります。この祭りは、大阪天満宮の氏子が中心となられ、地域を愛するという観点から守ってこられました。そのおかげで、千年の長きにわたって脈々と生命力を保ち続けています。

最近では、建築家の安藤忠雄さんが提唱されました、大川沿いを桜並木で彩る、「桜の会・平成の通り抜け」の事業でも、目標である桜1,000本分の募金のめどがつかなくなど、ここ関西には、地域の未来は自分たちの手で形づくっていくという、そういう気概がみなぎっております。

本日は、関西の各地で、自らの手でまちづくりを進めておられるNPOの方々や、まちづくり団体、住民等の皆様方の活動をご紹介いただき、同じ志を持つ多くの方々が、さらに交流を深めていただきたいと思います。

本日の発表会が、今後のコミュニティー活動の推進の一助となり、ひいては関西がますます元気になることを祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

**「関西元気宣言」発信運動本部長  
(社)関西経済連合会会長)**

**秋山 喜久**